

# 総選挙「野党共闘失敗」論 まったく デマ

共産・立憲・社民・れいわの4野党が共闘した総選挙。一部メディアはその結果を「野党共闘は失敗」と描き出しています。これは事実まったく反するデマ攻撃。4野党が一本化して臨んだ207の小選挙区では、「共闘効果」がハッキリ。野党バラバラなら自民圧勝、共闘がさらに力あるものになっていたら異なる結果になっていました。

4野党の「共闘勢力」で一本化した207小選挙区の結果

補得票割合 4野党の比例票合計 に対する小選挙区候補	選挙区当選	比例復活	15	1	当選ならず
	59	40	15	1	92
	得票率差10%未満			得票率差10%以上	
100%以上の選挙区数	56	39	13		36
100%未満の選挙区数	3	1	2		57

## 59小選挙区で勝利 比例復活当選も

この207小選挙区で4野党が一本化した候補は59選挙区で勝利。自民党の重鎮らを落選させました。当選できなかった148選挙区でも自公、維新らの候補との得票率の差を10%未満の僅差に追い込んだ選挙区が55。うち40選挙区で一本化候補が比例復活しました。復活できなかった15選挙区でも14選挙区で自民党候補などに2万票差内に追いつきました。

## 4野党の比例票を 144選挙区で上回る

207小選挙区での4野党の比例票の合計に対して一本化候補の得票の割合はどうかを調べてみると――。その結果、約7割の144選挙区で候補者得票が4党の比例票合計を上回りました。無党派層・他党支持層からの支持が広がるなど「共闘効果」が示されました。

## 参院選で反転攻勢を

## 日本共産党中央委員会総会

**比例5候補を発表** 日本共産党は11月28、29の両日、第4回中央委員会総会を開き、総選挙のたたかいから総括・教訓を引き出し、7カ月後に迫った参院選に勝利・躍進する方針を決

定、比例候補に5氏を発表しました。近畿2府4県の地域を担当するのは現職の大門実紀史参院議員です。市田忠義副委員長は今期で参院議員を勇退することになりました。



参院選勝利へがんばろうと決意を固めた第4回中央委員会総会 11月28日、共産党本部

## 日本政府の 立場問われる

# ドイツ 核禁条約会議参加へ

ドイツの社会民主党と緑の党、自由民主党の3党は11月24日に発表した連立政権樹立のための協定で、来年3月に開催予定の核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加する方針を示しました。北大西洋条約機構（NATO）加盟国で参加表明するのはスウェーデンに続いて2か国目。

日本共産党の志位和夫委員長は「心から歓迎したい」とし、「日本政府の立場が問われている。唯一の戦争被爆国として、まずは締約国会議にオブザーバーで参加することを求めたい」と述べました（11月25日）。

日本共産党